

広島県広島中央警察署に感謝状を贈呈

～自動車保険の保険金詐欺事件検挙の功績を讃える～

日本損害保険協会中国支部委員会(委員長:毛利 吉成・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員 中国本部長)は、8月23日(水)に、広島県広島中央警察署へ感謝状を贈呈しました。これは、自動車保険に関する保険金詐欺事件を検挙したことによって、安全で安心して暮らせる地域の実現および社会公共性の高い損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をしたことからその功績を讃えたものです。

当日は毛利委員長から、広島県広島中央警察署の三上 達也 署長に贈呈し、謝辞を述べました。三上署長からは「警察は感謝状をいただく機会はありません、励みになる。広島県広島中央警察署を代表して受け取ったので、捜査を頑張った署員たちにしっかり伝えたい。」と返礼がありました。「広島県警察と損害保険業界との連携した取組みの概要」や「損害保険業界が保険金詐欺対策を行う意義」などについて、報道機関から質問がありました。その後、当協会が推進する交通安全への取り組みや災害便乗商法への注意喚起活動など、多岐にわたり意見交換を行いました。

当支部では、引き続き、広島県警察本部をはじめとした関係先との連携を強化して、安全で安心して暮らせる地域の実現に向けて取り組んでいきます。



毛利委員長(右)から三上署長(左)に感謝状贈呈



左から大野交通第二課長、小谷交通官、三上署長、毛利委員長、大竹損害サービス部会長



取材対応の様子



意見交換の様子